



乳腺外科学講座

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2024-06-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2001536

鈴木弘行（アドバイザー）. ディスカッション 肺癌における周術期治療. Chugai Lung Cancer Seminar for Thoracic Surgery in 青森; 20221111; Web.

武藤哲史. 呼吸器外科の魅力とやりがい〜周術期治療の現状も添えて〜. Fukushima Chest Surgery Seminar; 20221125; Web.

その他の業績（作品、フィールドワーク等）

鈴木弘行. 39 診療科全てに肺結節検出 AI を導入、運用までの一部始終—鈴木弘行福島県立医大病院長インタビュー— Vol. 1. m3.com AI ラボ. 20220127.

鈴木弘行. 医療事故防止の保険と考えると AI のコストは桁違いに安価—鈴木弘行福島県立医大病院長インタビュー— Vol. 2. m3.com AI ラボ. 20220202.

鈴木弘行, 佐治重衡, 黒田純子, 武藤哲史. Challengers 肺がん診療の現場から 免疫関連有害事象に対応する多職種チームのこれまでとこれから（中外製薬株式会社インタビュー資料）. 202202.

武藤哲史. J-AXEL 試験の結果からIV期非小細胞肺癌二次治療の明日を考える 北日本肺癌オンライン座談会 医療従事者向け資料「NSCLC 2 次治療を検討する座談会」記録集. 202207.

鈴木弘行, 黒田純子. 医療安全改革アクションプラン策定への取り組み タスク・シフティングの推進で医師の働き方改革を. 日本化薬 診療報酬 INFO ナビ エキスパートインタビュー. 20220930.

鈴木弘行. 免疫チェックポイント阻害剤で変わる肺がんの周術期治療. 株式会社フェーズワン WEB サイト 「14live（医師ライブ） LUNG CANCER」 出演. 20221204.

乳腺外科学講座

論 文

〔原 著〕

Aruga T, Doihara H, Yanagita Y, Ishida T, Yamashita T, Uehara K, Taira T, Tsurutani J, Takeshita T, Tsuyuki S, Kaneko K, Ohtake T, Yamaguchi Y, Hara Y, Saji S. Evaluation of a novel medical device for pegfilgrastim administration. Cancer Science. 202205; 113(5):1763-1770.

Shibata M, Inukai A, Yoshimori D, Ashizawa M, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N,

Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Metabolic Impact of Immune-Suppressor Cells in Cancer Patients. *Journal of Surgery and Research*. 202203; 5(1):134-144.

Saji S, Taira N, Kitada M, Takano T, Takada M, Ohtake T, Toyama T, Kikawa Y, Hasegawa Y, Fujisawa T, Kashiwaba M, Ishida T, Nakamura R, Yamamoto Y, Toh U, Iwata H, Masuda N, Morita S, Ohno S, Toi M. Switch maintenance endocrine therapy plus bevacizumab after bevacizumab plus paclitaxel in advanced or metastatic oestrogen receptor-positive, HER2-negative breast cancer (BOOSTER): a randomised, open-label, phase 2 trial. *Lancet Oncology*. 202205; 23(5):636-649.

Shibata M, Nanno K, Yoshimori D, Nakajima T, Takada M, Yazawa T, Mimura K, Inoue N, Watanabe T, Tachibana K, Muto S, Momma T, Suzuki Y, Kono K, Endo S, Takenoshita S. Myeloid-derived suppressor cells: Cancer, autoimmune diseases, and more. *Oncotarget*. 202211; 13:1273-1285.

Bhardwaj A, Rojo RD, Ju Z, Koh A, Tachibana K, Wang J, Bedrosian I. The molecular heterogeneity of the precancerous breast affects drug efficacy. *Scientific Reports*. 202207; 12(1):12590.

野田勝, 立花和之進, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 岡野舞子, 吉田清香, 相楽浩哉, 菅野薫, 野水整, 君島伊造, 阿部力哉, 大竹徹, 福島県保健衛生協会乳がん検診精度管理委員会. 福島県における対策型乳がん検診の取り組みと成績. *日本乳癌検診学会誌*. 202203; 31(1):87-92.

岡野舞子, 大竹徹, 高部和明. 80歳台の乳癌は不良な腫瘍免疫微小環境と関連しており生存率が低い. *光が丘*. 202204; (51):72-74.

〔総説等〕

野田勝, 大竹徹. 転移・再発トリプルネガティブ乳癌に対する新たな治療戦略 免疫チェックポイント阻害薬. *大原記念財団年報*. 202208; 58:23-28.

大竹徹. がんの個性に合わせた治療. *日本臨床内科医学会誌*. 202206; 37(1):18-22.

〔その他〕

Ozaki A, Tachibana K, Ohtake T. Correction to: Challenges and future directions in breast cancer care in Fukushima prefecture in Japan: correspondence to "A survey on the current status of clinical resources for diagnosis and treatment of breast cancer in rural hospitals of the Tohoku region in Japan". *Breast Cancer*. 202201; 29(1):191.

大竹徹. 乳がん 20年で3倍に. *福島民報*. 20221024.

書籍等出版物

佐治重衡, 野田勝, 阿部宣子, 大竹徹. 乳房のがん. In: 医療情報科学研究所. *がんがみえる*. 東京: メディックメディア; 202202. p.388-411.

大竹徹. リンパ浮腫の予防、診断、治療. In: 戸井雅和. 乳癌診療 state of the art : 科学に基づく最新診療. 東京: 医歯薬出版; 202209. p.324-327.

研究発表等（講演・口頭発表等）

〔研究発表〕

Hoshi N, Tachibana K, Uemura T, Nishimagi Y, Noda M, Okano M, Abe S, Ohtake T, Waguri S. Protein expression and subcellular localization of a clathrin adaptor AP-1 associate with tumor growth activity in breast cancer. San Antonio Breast Cancer Symposium 2022; 20221207; Sanantonio, USA.

叶多諒, 近内政美, 菅家康之, 大河内千代, 岡野舞子, 八島玲, 片方直人, 勝部暢介, 田畑憲一, 野水整. 遺伝子検査で HBOC と判明した大腸癌多発家系. 第 212 回日本消化器病学会東北支部例会・第 167 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会; 20220204-05; 仙台/Web.

阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 阿部宣子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. CRRM を施行し偶発的に DCIS を認めた 1 例. 第 25 回東北家族性腫瘍研究会学術集会; 20220205; Web.

勝部暢介, 後藤かおり, 長塚美樹, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 野水整. 当院における遺伝性乳癌卵巣癌症候群 (HBOC) 診療の体制整備と現況. 第 25 回東北家族性腫瘍研究会学術集会; 20220205; Web.

渡部茉佑, 岡野舞子, 勝部暢介, 後藤かおり, 長塚美樹, 菊池智宏, 八島玲, 松寄正實, 片方直人, 野水整. 多重癌の既往歴と濃厚な家族歴から Lynch 症候群が疑われたが遺伝性乳癌卵巣癌症候群であった 1 例. 第 25 回東北家族性腫瘍研究会学術集会; 20220205; Web.

名取穰, 須賀淳子, 徳田恵美, 立花和之進, 今井順一, 本間玲子, 阿左見祐介, 野田勝, 佐々木栄作, 渡邊慎哉, 大竹徹, 佐治重衡. Ubiquitin ligase NEDD4 promotes degradation of estrogen receptor in breast cancer and affects prognosis. 第 19 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20220217; 京都/Web.

浅川真有, 岡野舞子, 後藤かおり, 長塚美樹, 松寄正實, 片方直人, 野水整. 妊娠期乳癌の一例. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

阿部貞彦, 東條華子, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 立花和之進, 中村泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. 腋窩部腺癌に対して腋窩郭清を施行した 2 例. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

菅野あづみ, 長塚美樹, 後藤かおり, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 勝部暢介, 野水整. MRI サーベイランスを契機に発見された術後 12 年対側乳癌の手術と同時に術後温存乳房 RRM と RRSO を施行した HBOC の 1 例. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

東條華子, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 中村泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. 乳腺血管肉腫の 2 例. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

野田勝（座長）. 若手セッション. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

野田勝, 東條華子, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹徹. HER2 陽性転移・再発乳癌に対するトラスツズマブデルクステカンの使用経験. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

平栗あかり, 長塚美樹, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 野水整. 四肢の結節性紅斑を合併した *Corynebacterium kroppenstedtii* による乳腺炎の一例. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

村上祐子, 東條華子, 阿部貞彦, 星信大, 野田勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. 視力低下を伴う乳癌副鼻腔転移に対して集学的治療が奏功した 1 例. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220306; Web.

高木孝亮, 岡野舞子, 後藤かおり, 長塚美樹, 松寄正實, 片方直人, 勝部暢介, 野水整. 遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対しリスク低減乳房切除術およびリスク低減卵管卵巣摘出術を行った一例. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220301-06; Web.

野田勝, 立花和之進, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 岡野舞子, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. 乳癌術後に出現・拡大した皮膚病変. 第 35 回北福島乳腺カンファレンス; 20220326; Web.

星信大, 立花和之進, 阿部貞彦, 村上祐子, 野田勝, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. 症例提示. 第 35 回北福島乳腺カンファレンス; 20220326; Web.

阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 立花和之進, 喜古雄一郎, 和栗聡, 大竹徹. 乳癌における p62/SQSTM1 の発現様式と臨床病理学的因子の関連性について. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

岡野舞子, 押正徳, 齋藤勝治, 河野浩二, 大竹徹, 高部和明. 乳癌 PDX モデルにおいて、同所性移植の方が皮下移植よりも優れた生着およびより速い成長を達成する. 第 122 回日本外科学会定期学術集会; 20220414-16; 熊本/Web.

入江絹子, 石崎莉子, 佐藤真由, 松村奈津子, 森龍彦, 花見由華, 山本俊幸, 星信大, 喜古雄一郎. 乳頭に腫瘤状病変を呈した乳房 paget 病の 1 例. 第 38 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20220625; 弘前/Web.

佐藤真由, 石崎莉子, 高田満喜, 石川真郷, 平岩朋子, 大塚幹夫, 山本俊幸, 野田勝. 乳癌術後の放射線照射野の発症した血管肉腫の 1 例. 第 38 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会; 20220624; 弘前/Web.

大竹徹（座長）. ミニポスター発表 画像診断①. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20220701; 横浜/Web.

長塚美樹, 後藤かおり, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 勝部暢介, 野水整. 当院で行った HBOC 症例に対するリスク低減手術の実際～保険適応前後での変化～. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20220701; 横浜/Web.

阿左見亜矢佳, 阿左見祐介, 鈴木伸康, 佐藤直, 立花和之進, 大竹徹. 高齢者乳癌に対する周術期治療と経過

観察について. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

阿部貞彦, 東條華子, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 岡野舞子, 立花和之進, 田村直輝, 植村武文, 喜古雄一郎, 橋本優子, 和栗聡, 大竹徹. 乳癌における p62/SQSTM-1 の発現様式と臨床病理学的因子の関連性について. 第 30 回日本乳癌学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

岡野舞子, 後藤かおり, 長塚美樹, 松寄正實, 片方直人, 野水整. 当院における AYA 世代乳癌患者の状況と今後の展望について. 第 30 回日本乳癌学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

片方直人, 後藤かおり, 長塚美樹, 大河内千代, 岡野舞子, 松寄正實, 野水整, 二瓶光博. 術前薬物療法を施行した HER2 陽性乳癌の検討. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

高木孝亮, 長塚美樹, 後藤かおり, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 勝部暢介, 野水整. 当院で保険適応後に HBOC と診断され RRM と RRSO を同時に行った 4 例. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

立花和之進. 乳癌術後対側腋窩リンパ節腫大のマネジメント. 第 30 回日本乳癌学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

東條華子, 野田勝, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹徹. パクリタキセルで病勢が制御された乳房温存術後の放射線誘発性血管肉腫の 1 例. 第 30 回日本乳癌学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

野田勝, 立花和之進, 東條華子, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 岡野舞子, 吉田清香, 大竹徹. BRCA1/2 遺伝子学的検査の保険適応拡大による乳癌診療の変化. 第 30 回日本乳癌学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

平栗あかり, 岡野舞子, 勝部暢介, 長塚美樹, 松寄正實, 片方直人, 旭修司, 菅野康吉, 野水整. Multi gene panel 検査において ATM 遺伝子病的バリエントが判明した乳癌症例. 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

星信大, 阿部貞彦, 東條華子, 村上祐子, 野田勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹徹. 当施設におけるホルモン受容体陽性転移再発・進行乳癌に対する CDK4/6 阻害薬の使用状況について. 第 30 回日本乳癌学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

村上祐子, 東條華子, 阿部貞彦, 星信大, 野田勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹徹. 視力低下を伴う乳癌副鼻腔転移に対して集学的治療が奏功した 1 例. 第 30 回日本乳癌学会学術総会; 20220630-0702; 横浜/Web.

吉田美香子, 北島由菜, 金澤麻衣子, 石田孝直, 佐治重衡, 大竹徹, 小島祥敬, 佐藤富美子, 川尻舞衣子, 武石陽子, 中村康香, 吉沢豊予子. 乳がん内分泌療法中の女性における閉経関連尿路生殖器症候群の実態. 第 24 日本女性骨盤底医学会; 20220702; さいたま.

菅野由佳, 野田勝, 東條華子, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹徹. 乳癌術後対側腋窩リンパ節腫大のマネジメント. 第 182 回東北外科集談会; 20220924; 福島/Web.

立花和之進. 当院における HBOC 診療～見えてきた課題と今後の展望～. 第 18 回東北 Breast Cancer Workshop; 20221007; 仙台/Web.

阿部貞彦. 症例提示. 第 36 回北福島乳腺カンファレンス; 20221008; Web.

金田侑大, 尾崎章彦, 川上浩彬, 浅野重之, 井内康輝, 廣岡信一, 上遠野歩, 高木莉子, 小坂真琴, 村山安寿, 澤野豊明, 島村泰輝, 坪倉正治, 黒川友博, 立花和之進, 和田真弘, 谷本哲也, 大竹徹, 北村直幸, 江尻友三, 馬籠英之, 新村浩明, 神崎憲雄. 東日本大震災と福島第一原発事故後の浜通りにおける乳癌センチネルリンパ節生検の術中迅速病理診断におけるテレパソロジーの応用. 第 19 回福島県乳癌研究会プログラム; 20221029; Web.

金田侑大, 尾崎章彦, 小寺康博, Divya Bhandari, 小林奈緒美, 高松克守, 笠井唯史, 荒井めぐみ, 高崎順子, 齋藤宏章, 澤野豊明, 金本義明, 佐藤裕之, 坪倉正治, 黒川友博, 立花和之進, 和田真弘, 谷本哲也, 大竹徹, 江尻友三, 新村浩明, 神崎憲雄. 東日本大震災後の福島沿岸部における乳がんリンパ浮腫に関する質的調査. 第 19 回福島県乳癌研究会プログラム; 20221029; Web.

高野綾, 笠原龍一, 神保和美, 森下慎一郎, 藤田貴昭, 西間木祐子, 安田満彦, 山本優一. 当院における axillary web syndrome の有病率と患者特性の予備的研究. 第 19 回福島県乳癌研究会プログラム; 20221029; Web.

舟見敬成, 石澤真奈美, 阿左見亜矢佳, 阿左見祐介, 寺西寧, 大竹徹, 佐藤聡見, 森下慎一郎. 化学療法前後における乳癌患者に対する運動療法の効果～心機能と運動耐容能の変化～. 第 19 回福島県乳癌研究会プログラム; 20221029; Web.

立花和之進, 野田勝, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 岡野舞子, 大竹徹. 乳癌術後対側腋窩リンパ節腫大のマネージメント. 第 24 回 SNNS 研究会学術集会; 20221105; 金沢.

[シンポジウム]

片方直人, 後藤かおり, 長塚美樹, 大河内千代, 岡野舞子, 松峯正寛, 野水整, 二瓶光博, 佐治重衡. HR 陽性 HER2 陰性転移再発乳癌に対するパルボシクリブ投与例の治療成績と次治療について. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

星信大, 東條華子, 阿部貞彦, 村上祐子, 野田勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹徹. ホルモン受容体陽性転移再発・進行乳癌における当施設での CDK4/6 阻害薬の使用状況. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

立花和之進 (診断部門講師). 教育セミナー 周術期化学療法の最適化～適応とレジメン. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220306; Web.

渡辺隆紀, 立花和之進, 片方直人. ディスカッション. WEB 講演会～骨粗鬆症治療をニューノーマルな視点から再考する～; 20220311; Web.

立花和之進 (ディスカッサント). 実臨床下での irAE の経験と対処 (肺障害編). 乳がん診療医のための irAE

Webinar～実臨床の事例から学ぶ～; 20220317; Web.

野田勝, 立花和之進, 阿部貞彦, 星信大, 村上祐子, 岡野舞子, 吉田清香, 大竹徹. シンポジウム7 エネルギーデバイスを使用した腋窩郭清術のコツと臨床成績「バイポーラシザーズを用いた腋窩郭清術のポイントと臨床成績」. 第47回日本外科系連合学会学術集会; 20220616; 盛岡.

大竹徹 (座長). ポスターディスカッション 放射線診断 (画像診断). 第30回日本乳癌検診学会学術総会; 20220630; 横浜/Web.

岡野舞子 (ディスカッサント). HER2 陽性乳癌の実地臨床における治療について. Fukushima Breast Cancer Symposium 2020; 20221011; Web.

野田勝 (ディスカッサント). irAE の発見と対処について～症例経過を踏まえて～. 第4回 irAE を考える会 in 福島; 20221013; Web.

立花和之進. 共催シンポジウム1 HER2 陽性乳がんの周術期治療を考える～Residual disease-guided approach を踏まえた治療方針～. 第24回 SNNS 研究会学術集会; 20221104; 金沢.

立花和之進 (ディスカッサント). 乳がん薬物療法において、Shared Decision Making をどう実践するか. 乳がん治療における SDM 検討セミナー～患者との治療法決定プロセスを再考する～; 20221125; 札幌/Web.

立花和之進 (ディスカッサント). TNBC への ICI 治療に関して. 中外 e セミナー on Breast Cancer in Tohoku; 20221129; Web.

西間木祐子 (ディスカッサント). 外来化学療法 of 患者負担軽減を目指したジーラスタボディーポッドの活用. 乳がん講演会 2022 in Fukushima; 20221217; Web.

〔特別講演〕

立花和之進. 知ってください「乳がん」のこと. 福島県「学生予防サポーター養成事業」出前講義; 20220127; 福島.

立花和之進. 乳がんについて. 学生予防サポーター養成セミナー; 20220208; 福島.

大竹徹 (座長). イブニングセミナー6 化学療法による脱毛軽減を目指した国産頭皮冷却装置の過去・現在・未来. 第19回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20220217; 京都/Web.

大竹徹 (座長). スポンサーセミナー3 ホルモン受容体陽性 HER2 陰性早期乳癌患者に対する OncotypeDX の意義及び今後の展開を考える. 第19回日本乳癌学会東北地方会; 20220302; Web.

大竹徹 (座長). スポンサーセミナー7 フルベストラント+CDK4/6 阻害剤併用療法の現在と未来. 第19回日本乳癌学会東北地方会; 20220302; Web.

大竹徹 (座長). スポンサーセミナー11 術後ホルモン療法のストラテジーと QOL. 第19回日本乳癌学会東

北地方会; 20220305; Web.

大竹徹 (座長). 教育講演 乳癌診療における最新の放射線治療と免疫放射線療法. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220305; Web.

立花和之進. マンモグラフィ読影・画像と病理の解説. 令和 3 年度福島県医師会乳がん検診ドクター講習会; 20220312; 郡山.

立花和之進. HER2 陽性乳がんの周術期治療を考える～Residual disease guided therapy を踏まえた治療方針～. 中外 e セミナー on Breast Cancer; 20220517; Web.

立花和之進. イブニングセミナー HBOC 診療から紐解くチーム医療の重要性. チームオンコロジーセミナーオールジャパン 2022～日本のみんなとつながるがんチーム医療～; 20220521; 仙台.

立花和之進. HR 陽性 HER2 陰性転移再発乳癌治療におけるフルベストラントについて再考する. 2022 Osaka Breast Cancer Online Symposium; 20220610; Web.

立花和之進. イブニングセミナー6 “いま” Bevacizumab の役割とは?～Post CDK4/6 阻害剤～. 第 30 回日本乳癌学会学術総会; 20220630; 横浜/Web.

立花和之進. 乳がんの術後薬物療法におけるベージニオの臨床活用について. Akita Breast Cancer Discussion; 20220706; 秋田.

野田勝. 中外製薬社内講演会. 中外製薬社内研修会; 20220720; 福島.

立花和之進. HER2 陽性乳がんの周術期治療を考える～Residual disease guided therapy を踏まえた治療方針～. 関東北甲信越 中外 e セミナー on Breast cancer; 20220721; Web.

立花和之進. 乳癌の術後薬物療法におけるベージニオの臨床活用について. 東北・新潟 BC Interactive Web Conference; 20220729; Web.

大竹徹. 転移再発乳癌の薬物療法アップデート. 福島県北乳癌診療学術セミナー; 20220826; 福島.

立花和之進. 乳癌治療薬の最新情報と副作用マネジメントについて. Breast Cancer Web Seminar; 20220826; Web.

立花和之進. エンハーツの使用経験と適正使用について. Breast Cancer Web Seminar in Fukushima; 20220831; Web.

大竹徹. 福島県のがん対策の現況. 第 5 回福島県がんシンポジウム; 20220911; 福島.

大竹徹. 福島県のがん対策と課題. 福島県議会議員による大竹徹先生を囲む会; 20220924; 福島.

立花和之進. 乳がんとその予防について. 大切な人を守る学生「がん予防」メイト養成事業; 20221003; 福島.

立花和之進. HER2 陽性乳がんの周術期治療を考える～Residual disease guided approach を踏まえた治療方針～. Fukushima Breast Cancer Symposium 2022; 20221011; Web.

立花和之進. 乳癌治療で使用する内服薬からみた医師と薬剤師の関わり方について. 薬薬連携講演会～乳腺外科医と共に考える～; 20221013; 福島.

立花和之進. HER2 陽性乳癌の周術期治療を考える～Residual disease guided approach を踏まえた治療方針～. 西讃地区 乳がん Expert Seminar 2022; 20221014; Web.

大竹徹. 乳がん検診の動向と HBOC 診療の現況. 令和 4 年度会津乳がん検診研修会; 20221018; 会津若松.

大竹徹 (座長). Special Lecture. 二本松薬剤師会 第 6 回がんを学ぶ会; 20221111; Web.

立花和之進. 乳がん診療における多職種連携～患者満足度向上を目指して～. 二本松薬剤師会 第 6 回がんを学ぶ会; 20221111; Web.

岡野舞子. 遺伝性乳癌卵巣癌症候群について、疾患概念から今後の展望まで. Breast Cancer Medical Staff Seminar; 20221115; 郡山.

立花和之進. 乳がんについて. がん検診促進出前講座; 20221116; 福島.

立花和之進 (座長). 行政説明・特別講演. 第 10 回ふくしま病院連携ネットワーク講演会; 20221122; Web.

立花和之進. 患者中心の意思決定を目指して～効果的な SDM の実践について～. 乳がん治療における SDM 検討セミナー～患者との治療法決定プロセスを再考する～; 20221125; 札幌/Web.

大竹徹. 周術期乳癌薬物療法の治療選択とジールスタボディーポットの位置づけ. Breast Cancer Web Seminar in Sapporo; 20221201; 札幌.

立花和之進. Residual disease guided approach を踏まえた HER2 陽性乳がんに対する周術期治療～患者さんに納得して治療を受けてもらうために私が大切にする IC のコツ～. YOKOHAMA プレストセミナー; 20221201; Web.

立花和之進. HER2 陽性乳がんの周術期治療を考える～Residual disease-guided approach を踏まえた治療方針～. CHUGAI BREAST CANCER SYMPOSIUM in SHIGA; 20221202; Web.

立花和之進. ジールスタボディーポットの登場によって変わる乳癌周術期薬物療法のマネージメント. 乳癌学術講演会 in 岩手; 20221213; Web.

大竹徹. 福島県におけるがん対策の現状. 患者会ピンクのリボン 乳がんほっとサロン～乳がん専門医の講演&茶話会～; 20221218; 福島.

立花和之進. 乳がん診療における Sared Decision Making の実践とチーム医療の構築. 患者会ピンクのリボン 乳

がんほっとサロンへ乳がん専門医の講演&茶話会へ; 20221218; 福島.

立花和之進. 自施設での irAE マネジメントの取り組み. MSD Breas Cancer Symposium; 20221221; Web.

立花和之進. 乳癌治療における FN マネジメントにジーラスタボディーポッドをどう活用するか? 福島県病院薬剤師会 郡山支部 学術講演会; 20221222; Web.

〔招待講演〕

立花和之進. 乳癌治療における FN 管理について再考する. 乳癌 FN マネジメント in Fukushima 2022; 20220524; Web.

立花和之進. 転移性再発乳癌に対する治療とフォローアップの考え方. 社内教育研修会; 20220905; Web.

立花和之進. 乳がんの治療と診断～転移再発後を中心に～. 第一三共社内研修会; 20220908; Web.

立花和之進. 社内研修会. 協和キリン社内研修会; 20220928; Web.

〔その他〕

岡野舞子（座長）. 保険収載された HBOC 診療の当院と高知県における現状と課題. 第 25 回東北家族性腫瘍研究会学術集会; 20220205; Web.

立花和之進（座長）. メディカルスタッフセミナー HBOC 診療の現状と将来への展望を考える. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会; 20220306; Web.

立花和之進（司会）. 総合討論. MEET THE EXPERT in 福島 Web Forum of HALAVEN-OS 延長を目指した治療ストラテジーの追求一; 20220520; Web.

松崎正實, 後藤かおり, 長塚美樹, 岡野舞子, 片方直人, 野水整, 二瓶光博, 橋本優子. マンモグラフィーにおける石灰化病変の取り扱い (ポスターディスカッション). 第 30 回日本乳癌検診学会学術総会; 20220630; 横浜 / Web.

大竹徹. 女性のための医療と健康 定期的ながん検診を. 20221001; 福島民友.

立花和之進. がんの早期発見! がん検診の大切さ. なんてかんで見っせ! 20221203; テレビユー福島 (テレビ放映).